磐城毎日

社長　大和田與兵衛
發行所　福島縣平市南町
株式會社　磐城毎日新聞社
編集兼印刷人　遠藤孝倫
發行人
電話（平）一二一〇番

お子さん方大の喜び
素的な花バスで市内遊覽

第二回磐城産業文化祭りは一、二、三の三日間平市において盛大に開催されるが同祭の進し物として市役所地方事務所内の陳列會場外に常磐交通の花自動車が三日間毎日午前九時から午後四時まで七才以下の兒童（附添も含む）を無料乘車させて市内を運轉するほか二日間は午前十時から郷土獅子舞並に相馬郡北郷の有志による相馬野馬追騎馬武者行列と平藝妓おはやし道中などをもつて市内を行進し午後一時からは三町目大通りの舞台で獅子舞と騎馬武者一行による相馬民謡を行う

保育所役員の補充決る

平市鎌田町鎌田保育所の後援會（會長藁谷四郎氏）副會長並に幹事五名が缺員となつていたため廿八日午後二時から役員と保護者會を開き役員の補選を行つた結果副會長に眞部勇吉、幹事講は吉田初枝、高橋清、松本稔、荒川昇、森山道子氏が選ばれた、なお同談會を行つた

細谷技師鑑定開始
問題の一小校舍材料等

平第一小學校新築工事不正事件に關し福島地檢山本次席檢事の囑託縣土木部建築課細谷技師外一名は廿八日來市、同日午後から問題の第一小校の鑑定を開始した細谷技師は今回の鑑定に關しては瓦、釘に至るまで建築材料の使用數量を徹底的に調査鑑定が濟むまでは當地に滯在することになつた

魚市場の町營案
小名濱町會で具体化か

小名濱町が漁業即水産を町是として町財源の根源となし總ての設計を樹立し今日に至つているが、茲數年間の漁況は殊に鰯漁の不振は徹底的に打撃を受け本年度において鰯漁が水揚げなき場合は余裕を種子なしとする傾向にあるを以つて此の際何とか打開の道を講ずる必要に迫られて居る、町議中にも過般の議會において魚市場の町營と併行して製氷冷藏事業を兼營し漁業の危急を救濟するの方法なきやと云う新しき意見も出て非常に町民の關心を高めたが、其の後更に他漁業地との振り合いから見ても其の經營主体を町に一任すると云う方法が如何にも合法的に縣並に國よりも融資の道を講ずる使法もなきにあらざるべしとは識者間に認めらるゝ事でもあるから町議が其の点の研究がついたとなし總ての設計を樹立し今日するなれば町議會は之れを採用するの意志が判然と浮び上つたので十二月定例町議會には町議有志が一丸となり緊急建議案として提出に保護された

自動車事故續出に
市内交通一齊取締る

平市署では三十日十二月四日同八日の三日間交通違反一齊取締を執行する最近、全國的に交通事故が頻發し市内でも九月、十月の二ケ月間に死者二名、致傷者四名の發生があり、事故は殆んど運轉手としての義務を怠つているのに起因していの点に重点を置き違反者は當行政處分に附せられる、無免許運轉、構造裝置不完全速度制限超過、銘てい操縦免許證不携帶、制限外積載及び乘者などに重点をおく

恐喝犯送檢

茨城縣磯原町前科三犯土工森正一郎（三三）は去る九月二十八日豊間町合磯土工佐藤江（二〇）から上衣一千円相當及び現金三百円を喝取し四件、一千二百円相當を働いた疑いで江名町署で取調べを受けていたが三十日身柄送檢

高壓線で二人火傷

東北配電錦變電所員齊藤光男（二二）同新妻昌幸（二〇）の二人は二十八日午後一時五十分ころ同變電所内で高壓線にふれ全治二週間の火傷を負つた

家出新記錄
仙臺から澤渡え君
九才の輝夫の輝

仙台市原町南の目柳沼方竹村幸男さん五男輝夫（九）は母親に叱られて二十八日家出した去る十九日組合積立金八十余万圓を持出し行方をくらました湯本町溫泉旅館組合事務員塙明子（二一）は三十日午前三時半ころ湯本町の自宅に舞戻つたところを張込中の同町署員に逮捕された同人は去る十九日組合費をふところに家を飛び出して以來横濱、濱松方面の親戚關係を廻つて歸つて來たもので、男の關係はない模樣所持金は現金二万圓を持つているだけで幾ら持つて出たかどんな經路で逃走していたかについては唯泣き崩れているだけで何も語らない、警察當局では明子の興奮が靜まるを待つて背後的關係の有無、動機などを調べる事になつた

市内にスリ又現る

石城郡好間村大字小舘字北區一二採炭夫岡田與四郎（三八）さんは三十日七十七銀行前で露店品見物中オーバ右ポケット内より現金二千四百六十圓をすられた

×

石城郡内郷町大字宮字宮澤二土工中山重藏（四〇）さんは三十日午前十時半頃市内七十七銀行前で露店品見物中上衣右ポケット内から勞働手帳（失業證明書在中）をすられた

明子取調に泣出す
八十万円拐帶犯擧る

三十日午前十時半頃市内七十七銀行前で露店品見物中上衣右ポケット内から勞働手帳（失業證明書在中）をすられた

拾い讀み

教組体育競技
石城優勝

磐通り教員体育大會は過般双葉高校で開れ、石城地區教員組合は陸上及び總合得点の上でも第一位をしめ卅日午後一時教組石城支部において賞狀並に優勝旗の授與式を擧行した

貯蓄組合金横領
鳥居塚に懲役六ケ月

廿九日地裁平支部では平市長橋町七古物商鳥居塚鐵藏（四二）に對し業務上横領罪で懲役六ケ月を申し渡した、同人は廿四年二月から本年二月にかけて市内長橋町第二部貯蓄組合の合計係を爲し金錢の出納保管の業務に從事中組合員十七名の積立金八万一千八百余円を自已の生活に費消したもの

縣税徵集方法
打合せ會

六日午後一時から石城地方事務所において税務相談員事務打ち會せ會を開き縣並に一般と縣税徵收方法について協議する

吳服店に賊

石城郡内郷町綴字七反田吳服商松尾事佐藤久男（三）さん方では廿九日午前一時から三時迄の間に表戸をバール樣のものであけられ店内から銘せん反物など百八十点、時價十二万円相當を盜まれた

判決

廿九日平地裁では石城郡内郷町大字綴字堀坂六土工新井春起こと朴春起（二八）及び同中道信夫（二八）にし窃盗並に電信方違反で懲役一年（五年間執行猶予）を申し渡した

両人は共謀の上本年七月三日午後一時内郷町大字綴字船場一平電氣通信管理所平電話局施設架電話線約一三九七米をペンチで切断窃取したもの

×

本籍相馬郡大ミカ村大字提谷住所不定無職吉田留五郎（七二）に對し詐欺罪で懲役二年を申し渡した同人は本年十月廿一日夕刻より翌廿二日にかけて湯本町大字湯本三函備中屋旅館に於て女中に對し支拂の意思なく飲食物を注文し藝妓代等二千五百円相當を消費したものである

×

内郷町大字宮字鬼ケ澤一〇〇無職朴智守（三九）に對し外國人登録令違反で懲役六ケ月（三年間執行猶予）を申し渡した、同人は朝鮮に國籍を有し昭和十四年頃より日本に來任し外國人登録令施行當時たる昭和廿二年八月茨城縣磯原町に居住したるにもかゝはらず同町長に對し登録をしなかつたもの

市場の魚

南町佐藤煙草屋さんの店先に七才位の男兒を連れた母親「お尋ねしますがこの子の開東不二越四九九？」と店のマダムに聞いて「解りました貰はお菓子を食ていたものですから」やつと疑問は解消した、マダムの言い譯は何時もお使いに來るこの坊やの眞面目さに店のマダムが御褒美にお菓子を上げたもの、子を思う母は若しや買い物の釣錢から買喰いでもしたのぢやないかとささいなことにも注意を拂い良き子の育成に苦勞の程がうかがれるものがありこの情景を記者は暗がりで聞いて家庭教育の母の力が斯くあるべきでこの注意さえあれば毎日のように起る青少年の犯罪も幾分減少できるのではあるまいかと思つた

【鮮魚】

三十日現在

	値卸（單位貫）
いか	七五―七〇円
さつまあげ	三〇〇円

市況―入荷は時化とエビス講で少く約千貫、人氣は下落

【青果市況】

丸サ市場

大根	一五―一〇円
白菜	二八―二〇円
油菜（一把）	一円五〇錢―一円
ほうれん草（同）	六―三円
へら菜	一二―六円
ねぎ	六〇―五〇円
同（小束）	八―五円

商況、經濟欄

電力基準割打合會

磐城電力協會では二日午前十時半から各炭礦の電力擔當者を集めてこのほど改正された電氣需給調整規則による基準割當の增加申請について打合せ會を行う

【株式市況】

磐城證券30日前場

戰局を懸念して一般に平和株は賣人氣となり安く舊軍需株鐵鋼株のみがしつかりしているこゝ暫くが太勢の分れ目となるであろう、出來高も多く概算百八十万株

鋼管	七〇
東洋紡	三〇三
鐘紡	一三六
日清紡	三〇〇
吳羽紡	一三四
日東紡	二三五
片倉	六九
帝人	一六〇
東洋レ	一六三
新光レ	四三三
山バル	二六五
東海上	三三六
新郵船	一六九
三井船	一三一
日發	四〇
三井山四三・五	
日石	七〇
三井造	一〇〇
日立三三・五	
東北パ	三三五
日活	二六
日セメ	七三
磐城セ	一五八
小野田	二六
不動新	二三四
陽和不	一八〇
開東不	二二五
常庵	一六〇
本州紙	一三〇
日本

四ツ倉警察署 紊亂に町民憤激

内部抗爭、署長は戀愛遊ざ

四ツ倉町自治警察署長の戀文問題も問題であるがそれよりも大きな問題は開署以來署員が十名も退職している問題の方が更に大きい、理由なしに現職を去つているのではない、こんなに移動のあつた眞相を知り度いと町民は驚いてゐる、公安委員の無能無策振りも批判の的となつてゐる

何か臭味のある四ツ倉町署々長始め公務の執行に眞摯性を缺いているから不謹心な圖体を暴露したのだし如何に内部抗爭とあつても巡査の更迭は内部の緊乱も親れ町民から漸く追及の聲があがつている

鼻下長署長女スパイに現つ

署長老らくの戀としてさわがれた四倉町自治署長佐藤藤男氏の「戀文事件」は當時同町公安委員や署長、署員の對立激化で署員が相ついで辞職、町會にも緊急議案として取上げられ一時佐藤署長の進退が注目されていたが、同町公安委員らの骨折りでこのほど田村郡小野新町署長加藤喜平氏との交流で十二月一日付小野新町署に轉出、一應ケリと見られていたが、去る二十八日最近子供がけん銃を暴發させたことから引責辞職した元同署巡査部長吉田治重氏が「佐藤署長と女書記のスキャンダルは事實である」とその眞相を暴露、再び波紋を投げている

問題の戀文は佐藤署長が同署書記某女(八)さんあてに六月ころから十數回に亘つて手交されたもの云はれると言われ最初のものには「余は男だ喜んで固く永久にお前を愛す、大船に乘つた氣持で安堵せよ、斯なる上はお互に一心どう体の契り身となることを誓うが如何、絶對責任をもつ(原文寫し)其の後には「君の信頼に一切を捧げる、また君も一切を(心肉体とも)遠慮なく捧げることを約束せよ、實行については其の中指示する」と露骨な命令的な文面になつている

この戀文は署長の仕打ちを恨んでいる彼女のところから次々署員に手渡されていたもので、署内は勿論、町内にもガリ版刷りや寫しが相當流布されていた

生ぬるい公安委員の措置

なお同戀文事件については一時町内は勿論、町議會にまでのぼつたものを町公安委が一手に引き受けてさばいて來たもので當時は公安委員が事實を否定していたことも問題でもあり、此度買上價格より一級ずゝ格上げして政府に支拂代金を申請、拂渡し代金と申請代金の差額七千百二十圓の不正利得をせしめていた疑で三十日植田地區署に逮捕された、同署では外にも余罪ありと見て追及中

其の後佐藤署長は六月から七月初めにかけ彼女を湯本温泉えお拐き出しのため故なき休みかを興え、平市へ公式出張の名をかり計畫的に逢瀬を樂しまうとしたが彼女が應せず見事失敗したとも事業も完璧を期し難い處から去二十八日大竹知事の來町を好機として縣知事の助成を得て總工費六千万圓の其の支出を陳情、一ケ年の單年度事業としたき旨決議をもたらし其の筋に陳情する事に議を進め明年度には目的貫徹を期し猛運動を轉開する事となつた、假りに單年度において之れが實現を見る場合は江名町下神白三崎海面一万坪の公有海面の埋立を以つて船引場ならしめ、岬鼻先から内防波堤三百米の築造に依つて自然船溜りが形成し時化の場避難が容易たらしむるものがあるので本町としては是非とも其の實現に邁進せねばならぬと衝天の意氣を示して居る

小名浜通信

農地交換トップ切つて

錦方部百萬圓で着手

小名濱町信用組合では愈々敷地を買收し事務所を建設する事に決し去廿四日建築方法に就て役員の議會を開き組合員内の土建請負者、登録者に依つて當らしむる事に決定し其の前提として敷地買收のためには土建請負登録者中に敷地買收は奔走、成功せしめたる緣故に依つて此れに特命すべきである事を志賀組合長から說明の上に登録者の會合を請うて其意味をかんで吐き出す樣に說明し登録者の自治的了見に任せたのであつた

石城地方事務所では廿五年度の郡下農地交換分合を山田村大字富津から錦町大字井栗に亘る四町四反歩を實施することになつて卅日その計畫書を縣に送附した、これによる農耕地の整理として幹線農道一千五百米、支線農道一千七百五十米、排水路一千四百米の工費八十五万円と幹線道路の三ケ所と支線に一ケ所の橋梁費三万四千円、暗渠七ケ所、二万一千円など總工費百万円で十二月十日から着工して三月卅一日の完成豫定であるこれ等によつて受益面積は畑八町歩、水田廿六町歩四反となる

小名濱港灣對策委員會

小名濱町港灣對策委員會並港灣調査委員會連合の許に三十日午前九時より町會議室において協議會を開き明年度國庫支出金、港灣費の問題を檢討し内防波堤の三百米築堤、船溜り船引場埋立をする事になつたが、國費は二十五年度に比し二割乃至三割の增額を見越しても僅に三千万圓程度と見られ斯くては其の事業の半に も達せざる有樣にて、救難

文化講座一小校で

平市の十二月文化講座は二日午後一時半から第一小學校で行う、講師は報德生活における分度＝黑田吉之助第一小校長、新聞と文化＝大塚正勝社會教育委員毎日新聞平通信部

脳病院を脱出

澤渡村大字下市萱字根子屋後八時ころ入院中の平市才槌小路新田目脳病院から脱出、行方をくらました、同病院では平地區署に連絡、捜査しているが三十日午前

不正檢査員ら逮捕

麥の等級差額を横領

錦町江栗字江の花縣食糧事務所石城支所植田出張所檢査官補芳賀寛(二九)山田村字小山田同村農協組書記倉庫主任大河内政夫(三五)の両人は共謀して山田村供出の本年度麥類百三十俵の等級を買上價格より一級ずゝ格上げして政府に支拂代金を申請、拂渡し代金と申請代金の差額七千百二十圓の不正利得をせしめていた疑で三十日植田地區署に逮捕された、同署では外にも余罪ありと見て追及中

生ぬるい公安委員の措置

なお同戀文事件については一時町内は勿論、町議會にまでのぼつたものを町公安委が一手に引き受けてさばいて來たもので當時は公安委員が事實を否定していたことも問題でもあり、此度買上價格より一級ずゝ格上げして政府に支拂代金を申請、拂渡し代金と申請代金の差額七千百二十圓の不正利得をせしめていた疑で三十日植田地區署に逮捕された、同署では外にも余罪ありと見て追及中

小名濱港灣對策委員會

小名濱町港灣對策委員會並港灣調査委員會連合の許に三十日午前九時より町會議室において協議會を開き明年度國庫支出金、港灣費の問題を檢討し内防波堤の三百米築堤、船溜り船引場埋立をする事になつたが、國費は二十五年度に比し二割乃至三割の增額を見越しても僅に三千万圓程度と見られ斯くては其の事業の半に も達せざる有樣にて、救難

文化講座一小校で

平市の十二月文化講座は二日午後一時半から第一小學校で行う、講師は報德生活における分度＝黑田吉之助第一小校長、新聞と文化＝大塚正勝社會教育委員毎日新聞平通信部

脳病院を脱出

澤渡村大字下市萱字根子屋後八時ころ入院中の平市才槌小路新田目脳病院から脱出、行方をくらました、同病院では平地區署に連絡、捜査しているが三十日午前

不正檢査員ら逮捕

麥の等級差額を横領

錦町江栗字江の花縣食糧事務所石城支所植田出張所檢査官補芳賀寛(二九)山田村字小山田同村農協組書記倉庫主任大河内政夫(三五)の両人は共謀して山田村供出の本年度麥類百三十俵の等級を